

ふらっとホーム2014 in 中央区

みんなで語ろう！ 札幌のまちづくり



区民と市長が札幌を住みよいまちにするために気軽に意見を交わす「ふらっとホーム」。今回は、平成26年10月4日(土)に中央図書館で行われた「ふらっとホーム2014in中央区」において、5人の区民と上田市長、高松中央区長が対話した内容の一部を紹介します。

観光の振興などまちの魅力向上について

ばば
馬場さん

公共の場のデザインや色彩を、まちの印象を生かしてもうちょっとセンスのいいものにできないでしょうか。観光客にも、これまで以上にすてきなまちだという印象を持たれるでしょうし、それが伝わってさらにまち全体の発展につながっていくのではないかと思います。



クインさん

札幌は首都圏と比べて家賃が安いなど住環境がよく、賃金の面でも地方都市の利点があります。デジタル時代になり、距離はあまり関係なくなってきていますし、海外からの企業を誘致できるのであれば、雇用の機会も増えて、まち全体に活気が出るのではないのでしょうか。



上田市長

札幌も、例えばレンガ色のような落ち着いた色でまとめることができれば、とてもすてきなまちになるだろうと思います。これからもみんなで意見を述べ合いながら、統一感のある美しいまちに成長させていきたいと思います。

上田市長

まちにどうやって産業を興していくかということはとても大事です。国内外の企業から札幌に第二本社をつくりたいとの話もいただいております、この機を捉えて、市民がしっかりと働くことのできるまちにしていきたいと思っています。

高齢者・障がい者などの福祉について

まつお
松尾さん

高齢者には自分で何とかしたいといった考えがあり、多くの制度があるにもかかわらず、実際には利用しにくいという状況があると思います。市や地域などでいろいろな努力をされているので、それを上手に利用できるよう自ら声を発する努力をしていかなければいけないと感じています。



こばやし
小林さん

現在、母親が高齢者住宅に入所しています。日々状態が変化していく中で、どのように寄り添っていけるかということを相談したいのですが、お世話になったケアマネジャーが異動になり、誰に話してよいか分からない状況です。そういった内容を相談できる機関があるといいのですが。



上田市長

災害時などに支援が必要な方をあらかじめ登録する地域カルテという取り組みも進んできています。支援を受けられる方が、遠慮すべきことではないのだと思ってもらえるよう、これからは地道にしっかりと活動していきます。

上田市長

まずは区役所に足を運んでいただき、保健福祉の窓口で個別にお話をお聞かせください。また、施設においても、事情を理解し、適切なアドバイスのできる方がおられると思います。ぜひ親交を深めていただきたいと思います。